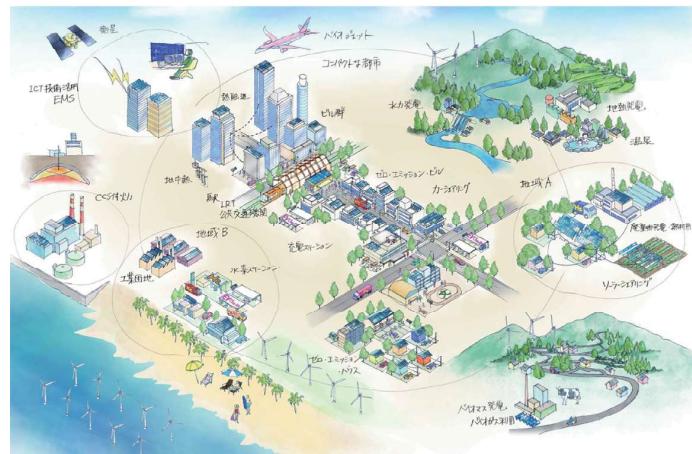




..... 長期大幅削減の絵姿(街のイメージ)



環境省「長期低炭素ビジョン」平成29年3月

再生可能
エネルギー等が
9割以上

- 再生可能エネルギーなどの低炭素電源が、発電する電力量の9割以上。
 - それぞれの地域に合わせた再生可能エネルギー発電（高効率で需要家近接型の太陽光発電、ボテンシャルの大きい風力、安定的な水力、地熱、バイオマス等）。
 - 地域での再エネ普及が、地域雇用の創出や国内企業の活動原資に

乗用車は
EV/PHV車が
主流に

- 乗用車はEV/PHV車が主流（エネルギー源は、低炭素電源の電力や再エネで作る水素）。
 - ライドシェアやカーシェアリングなどの仕組みも普及。
 - ICT技術やビッグデータ活用による自動運転で、エコドライブ＆渋滞のない最適ルート選択。

都市のコンパクト化 移動も低炭素化

- 都市のコンパクト化。徒歩や自転車の活用が増え、公共交通も整備され移動が便利に。
 - 長距離輸送の動力源が低炭素化（再エネ由来の水素やバイオ燃料の導入が進む）かつ運航の効率化

建物生産工学

- 建物は断熱性が高くなり、省エネかつ健康で快適に。そのことで生活の質（QOL）も向上。
 - パッシブ設計（特別な機械装置を使わずに、建物の構造や材料などの工夫によって熱や空気の流れを制御し、快適な室内環境をつくりだす手法）の普及・創エネ機器や省エネ機器の選択。

京都府地球温暖化防止活動推進センター